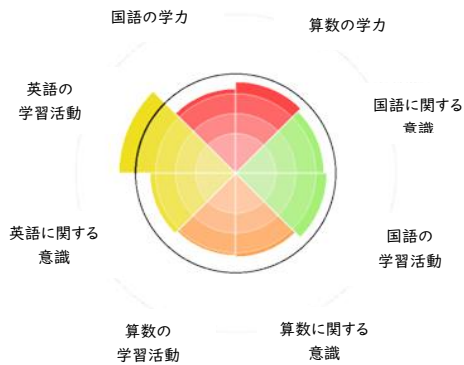


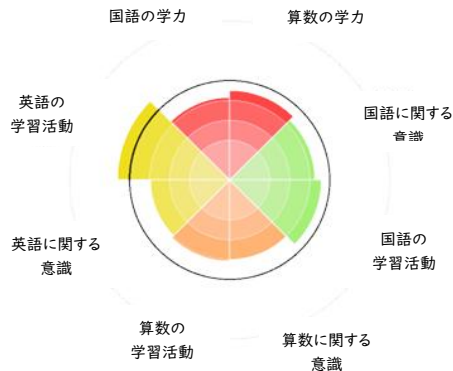
全国学力・学習状況調査結果及び課題に対する改善策について

日頃より本校の教育活動にご協力頂きありがとうございます。4月に実施された全国学力・学習状況調査の結果及び課題に対する改善策等についてお知らせします。本年度は、国語、算数、英語の調査が行われました。

〔教科を中心とした学力・学習状況〕
(全国基準)



(神奈川県基準)



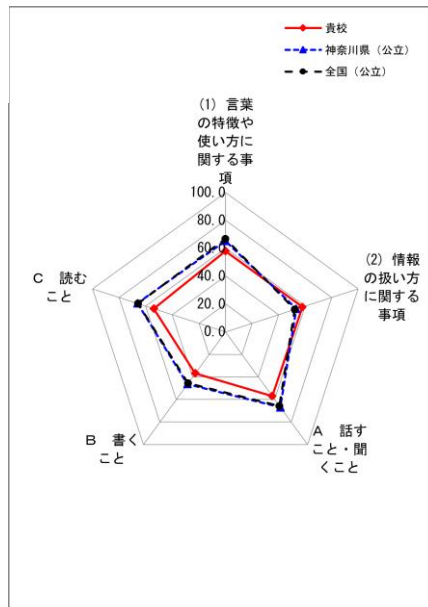
教科を中心とした学力・学習状況を分析すると、各教科の学力が全国平均、神奈川県平均どちらも下回っていることが分かりました。

教科ごとに各領域の平均正答率の状況を見ると、国語では、【情報の扱い方に関する事項】の領域が平均を満たしている一方、その他領域では平均を下回っており、特に【読むこと】【書くこと】に課題が見られました。【読むこと】では、読書などを通して多くの文章に触れる機会を増やすことで改善され则认为しています。朝読書の活用、タブレットの「Yomokka!」等の活用で読書に親しむ機会を増やしていきます。算数では、【測定】の領域では平均を満たしている一方、その他領域では平均を下回っており、特に【数と計算】と【変化と関係】の領域に課題がありました。どちらの領域でも、視覚的に数の変化に気付けるように、数直線などの図や表の活用の理解を深めることで、改善につながると考えています。

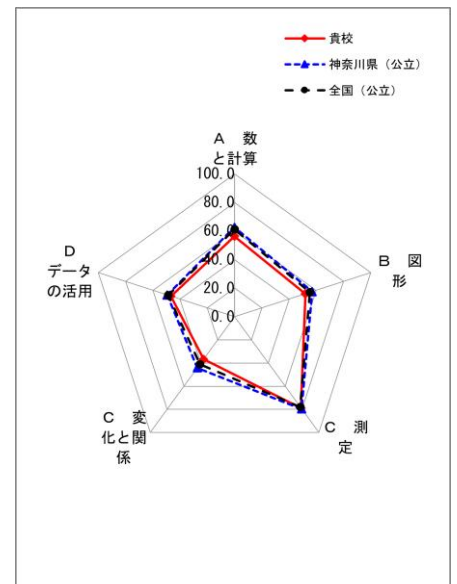
英語については、詳細な情報の提供はありませんでした。

学力面に課題はありますが、【学習に対する意識】や【主体性】を伸ばすことで学力の向上にもつながっていくと考えられます。そのため、主体的に学ぼうとする授業づくりに教師自身が務め、確かな学力に結びつけられるようにしていきます。

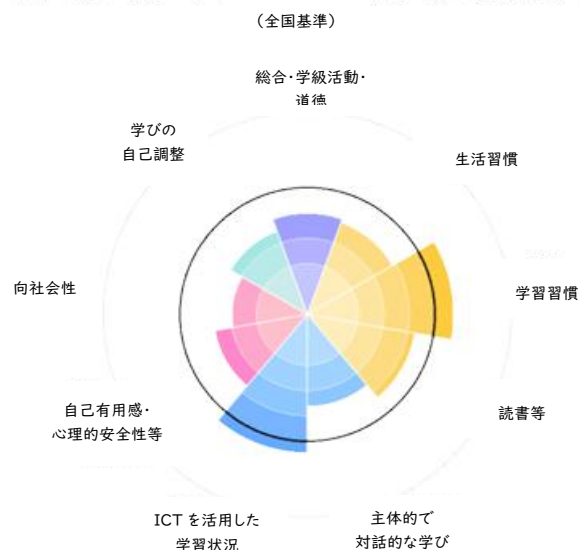
＜国語の各領域の平均正答率の状況＞



＜算数の各領域の平均正答率の状況＞



【その他の学力・学習状況（学習習慣、自己有用感等）】



その他学力・学習状況(学習習慣、自己有用感等)を分析すると、【学習習慣】【ICTを活用した学習状況】については、全国平均、神奈川県平均を上回っているという結果になりました。反面、その他領域については平均を下回っていました。

【向社会性】を高めるために、様々な教育活動を通して協力的な活動を意図的に行ったり、向社会的行動の価値を見いだせるような工夫をしたりすることで、改善につなげていきます。【学びの自己調整】では、計画を立て実行する場面を設けたり、見通しをもって活動できるような環境整備をしたりするなどし、自己決定を繰り返し行えるようにすることで向上につなげます。【主体的・対話的で深い学び】を高めるために、グループワークや話し合い活動を大切にするすることで、自己の考えにとどまらず、考えを広げ、深めていけるようにしていきます。

【学びの自己調整】の領域については、学校の指導だけでなく、ご家庭でも自ら計画を立てたり、自己決定する場を設定したりするなど連動していくことで、より一層大きく伸びていくと考えています。今後ともご理解とご協力のほどよろしくお願い致します。

